

全体総括

計画期間；平成22年11月～平成27年3月（4年4月）

1. 計画期間終了後の市街地の状況（概況）

本市は、老朽化の進む再開発ビルの大規模リニューアルにより魅力的な商業環境を創出するとともに、地域資源を活用し、中心市街地に人々が回遊・滞留するための仕掛け作りを行い、商業の活性化を中心としたまちづくり活動の展開に取り組んできた。そして、本基本計画の核事業として進められてきたアステ川西の地下1階リニューアル事業等の実施により、川西能勢口駅周辺の魅力が回復した。

さらに、川西市の中心市街地では、民間事業者による商業施設や住宅施設の整備、商業団体や商工会と市が中心となった様々なイベントが行なわれ、歩行者通行量の増加につながることで、にぎわいが回復しつつある。

また、駅周辺都市整備計画基本構想区域（約38ha）の北に隣接する約22.3haの中央北地区（以下、「キセラ川西」という。）では、都市基盤（中央公園やせせらぎ遊歩道（歩行者専用道路）など）を整備し、福祉・医療・保健・文化ホール等複合施設、住宅施設、医療施設及び大規模集客施設などの都市機能が集積する次世代型複合都市をめざしたまちづくりを進めており、基本計画期間内に区画整理が着実に進捗している状況であることから、今後の同地区内における新たな取り組み基盤が整備されることで、更なる活性化が図られることを期待している。

このほか、中心市街地における魅力的でにぎわいのあるまちづくり、まちを回遊・滞留するためのネットワーク構築、様々なイベント事業の展開などを、川西市中心市街地活性化協議会を中心に、商店会や商業団体、商工会等との連携で実施するなど、にぎわいと回遊性の創出に向けた取り組みにより、以前にましてにぎわいが創出されたと考えられる。

一方で、人をまちにより長く滞留させることや、小売業の年間商品販売額を増加させることができなかったことから、今後、キセラ川西から生まれるにぎわいをうまく活用するとともに、商業者や商店会、商工会・まちづくり組織と市が一丸となって、来街者をひきつけられるような中心市街地の魅力を高める取り組みを進めていく必要がある。

2. 計画した事業は予定どおり進捗・完了したか。また、中心市街地の活性化は図られたか（個別指標毎ではなく中心市街地の状況を総合的に判断）

【進捗・完了状況】

概ね順調に進捗・完了した  順調に進捗したとはいえない

【活性化状況】

かなり活性化が図られた

若干の活性化が図られた

活性化に至らなかった（計画策定時と変化なし）

活性化に至らなかった（計画策定時より悪化）

### 3. 進捗状況及び活性化状況の詳細とその理由(2.における選択肢の理由)

基本計画に掲載する全 38 事業のうち、完了・実施中が 29 事業、未実施が 9 事業となっている状況である。

本市中心市街地は、長引く景気低迷や消費者の低価格志向等が進んだことに加えて、小売商店数が年々減少しており、さらに、計画期間内に周辺都市で大規模商業施設が次々に建設されるなど本市を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、旧ジャスコが撤退したことや、アステ川西の地下1階に誘致した店舗がわずか2年未満で撤退したこと、購買需要の基礎となる居住人口について、当初想定したほど人口が増加しなかったことにより、年間商品販売額(小売業)が減少した。さらに、最寄品の購入だけのためにまちに立ち寄る人が多く見受けられたが、エンターテインメント施設や憩いの場などが数少ないために、滞留時間の増加に結び付けることができなかった。

このような状況のもと、中心市街地での商業振興を目的とした各ソフト事業の実施や民間事業者による住宅施設整備、さらに、アステ川西地下1階リニューアルの再オープンの実施といった活性化事業の取り組みに加えて、平成25年10月に旧ジャスコ跡地にイオンリカー&ビューティー川西店が開業したことなどで歩行者通行量が年々増加していくことにより、歩行者通行量は目標の数値に達成することができた。

### 4. 中心市街地活性化基本計画の取組に対する中心市街地活性化協議会の意見

#### 【活性化状況】

かなり活性化が図られた

若干の活性化が図られた

活性化に至らなかった(計画策定時と変化なし)

活性化に至らなかった(計画策定時より悪化)

#### 【詳細を記載】

川西市中心市街地活性化協議会としては、行政、関係団体等と協議・調整を重ねながら、活性化事業に対して、意見や提案を行ってきた。また、基本計画の実現に向けて、活性化事業に今後も積極的に取り組んでいくとともに、新たな取り組みについても、研究・検討を重ねてきたことにより、結果としては、一部未実施の事業はあるが、基本計画に位置づけられた事業は概ね実施されたと考えている。

中心市街地の現況として、活性化事業の取り組みにより、歩行者通行量の目標数値が達成されたことから、まちが変化したことで、中心市街地への来街者が増加し、にぎわいが創出されたと考えられる。

また、基本計画に掲げた目標のうち年間商品販売額(小売業)については、厳しい経済状況や社会環境の変化等により、数値目標は達成できなかったものの、キセラ川西という重要なプロジェクトが進捗中であり、川西能勢口駅周辺とキセラ川西との回遊性を創出し、活性化を図ることで、創出されたにぎわいをエリア全体に波及することを期待している。

当協議会においても、計画事業を継続して実施する一方で、地域住民等からの十分な理解や参加のもと、中心市街地のさらなる魅力創出と活性化に向け、官民一体となって取り組む所存である。

## 5. 市民意識の変化

### 【活性化状況】

- かなり活性化が図られた
- 若干の活性化が図られた
- 活性化に至らなかった（計画策定時と変化なし）
- 活性化に至らなかった（計画策定時より悪化）

### 【詳細を記載】

#### まちなか実感調査

##### 調査日時

- ・平成 26 年 6 月

##### 調査方法

- ・調査員の街頭インタビューによる聞き取り調査

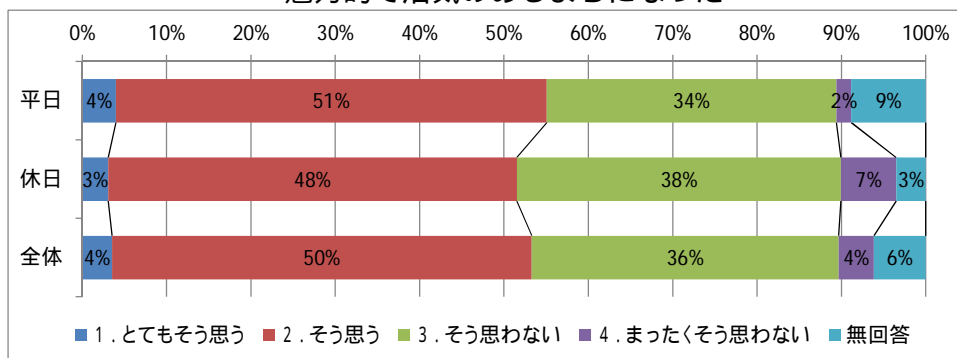
##### 回収サンプル数

- ・休日：229 サンプル
- ・平日：227 サンプル

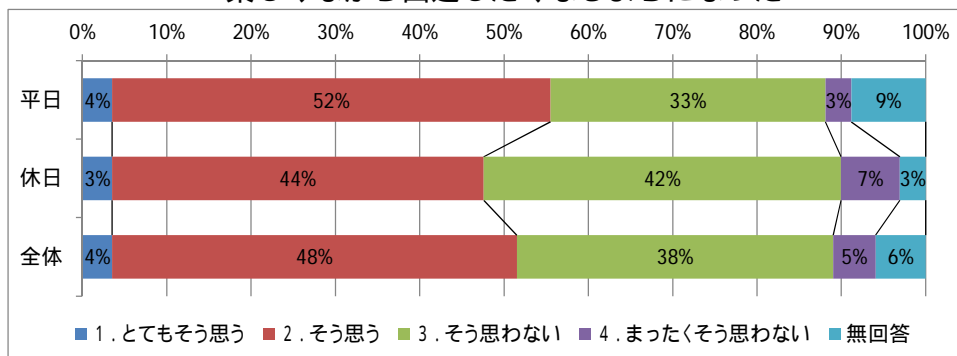
#### 数年前と比較したまちの状況

数年前と比べ「魅力的で活気のあるまちになった」と感じた人が半数以上となったほか、「楽しみながら回遊したくなるまちになった」と感じた人も半数前後となった。

魅力的で活気のあるまちになった



楽しみながら回遊したくなるまちになった



## 6. 今後の取組

今後も川西市中心市街地活性化協議会を中心に、商業者や商店会、商工会・まちづくり組織と市が連携し、事業進捗状況を把握しながら官民一体となり必要な対策を講じていくとともに、より効果的な事業推進を図る。

特にキセラ川西において、健康・医療・福祉、芸術・文化・スポーツなどの市民活動の場となる新たなにぎわいづくりを進めるとともに、川西能勢口駅周辺とキセラ川西の両地区をつなぐ、環境にやさしく便利な交通ネットワークを検討していくことで、回遊性を創出させていく。

また、子どもから高齢者まで安心して住める環境づくりを推進するとともに、自然を身近に感じることのできる環境づくりを進め、魅力ある住環境の整備を図る。さらに、多様な主体が連携し、多くの人をひきつけ、商業の活性化にもつなげる様々なイベントを実施するとともに、次世代のまちづくりのリーダーとなる人材の発掘・育成に取り組んでいく。

### (参考)

#### 各目標の達成状況

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値		達成状況
				(数値)	(年月)	
魅力的で活気のある『かわにしのせぐち』の創造	年間商品販売額 (小売業)	536億円 (H21)	540億円 (H26)	496億円	H27.3	<u>c</u>
楽しみながら回遊し たくなる『かわにしの せぐち』の創造	休日の歩行者通 行量	56,368 人/日 (H21)	62,000 人/日 (H26)	64,172人/日	H26.11	<u>a</u>

注) 達成状況欄 (注: 小文字の a、b、c は下線を引いて下さい)

A (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。さらに、最新の実績でも目標値を超えることができた。)

a (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。一方、最新の実績では目標値を超えることができた。)

B (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では基準値を超えることができたが、目標値には及ばず。)

b (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では基準値を超えることができたが、目標値には及ばず。)

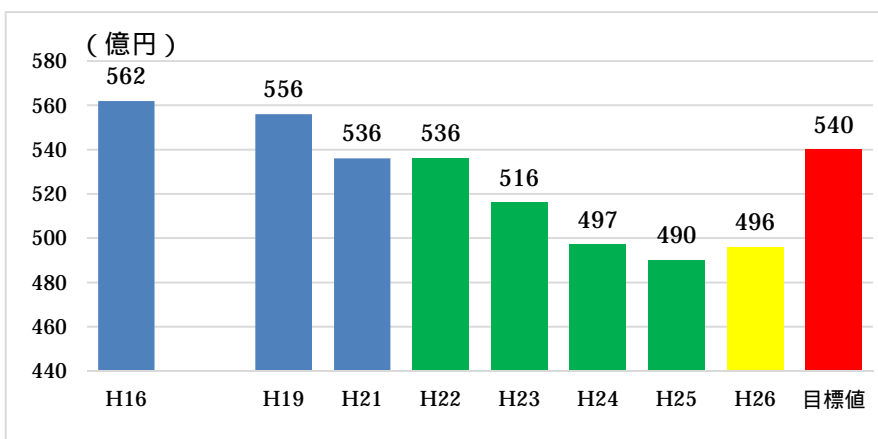
C (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では目標値および基準値にも及ばなかった。)

c (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では目標値および基準値にも及ばなかった。)

目標 魅力的で活気のある『かわにしのせぐち』の創造

「年間商品販売額（小売業）」 目標設定の考え方基本計画 P62～P68 参照

1. 調査結果の推移



年	年間商品販売額 （単位：億円）
H21	536 （基準年値）
H22	536
H23	516
H24	497
H25	490
H26	496 （目標 540 億円）

調査方法；聞き込み調査により、過去の商業統計調査結果から推計  
 調査月；各年 3 月実施、4 月取りまとめ  
 調査主体；川西市  
 調査対象；中心市街地における商業施設、商店会

2. 目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（事業効果）

・アステ川西地下 1 階リニューアル事業（川西都市開発株式会社）

支援措置名及び支援期間	なし
事業開始・完了時期	平成 22～25 年度【済】
事業概要	アステ川西地下1階において、所有と利用の分離手法を活用し、床を一括管理してテナントミックスを行い、フロアの全面改修工事を実施する。
目標値・最新値	（目標値） 18.31 億円 （最新値） 約 15 億円
達成状況	目標未達成
達成した（出来なかった）理由	リニューアルを実施し、販売額が増加したものの、周辺に商業施設の建設等があったことの影響により、目標達成の数値にまでは至らなかった。
計画終了後の状況（事業効果）	当該事業の実施により、中心市街地に魅力ある商業店舗が増えたことから、にぎわいは創出されている。
事業の今後について	実施済

・アステ川西大規模改修事業（川西都市開発株式会社）

支援措置名及び支援期間	なし
事業開始・完了時期	平成 24 年度～【未】
事業概要	老朽化したアステ川西を大規模リニューアルし、通路の緑化及び市民憩い空間の整備、来館する高齢者や障害者などの移動円滑化のための昇降機の新設、通路・トイレの改修などを行う。
目標値・最新値	(目標値) 5.19 億円 (最新値) -
達成状況	目標未達成
達成した（出来なかった）理由	商業施設の資金繰りの関係から、段階的な改修を実施している状況であり、大規模な改修をするには至らなかった。
計画終了後の状況（事業効果）	未実施のため事業効果なし
事業の今後について	老朽化した建物を年度ごとに部分的な改修を、今後も実施していく。

・川西能勢口駅東地区第 2 工区優良建築物等整備事業（川西能勢口駅東地区第 2 工区権利者）

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(優良建築物等整備事業) 平成 24 年度～
事業開始・完了時期	平成 24 年度～【未】
事業概要	都市機能の更新と生活環境の改善のための商業施設と住宅施設などの建設を実施し、駅前の賑わいを創出する。
目標値・最新値	(目標値) 6.21 億円 (最新値) -
達成状況	目標未達成
達成した（出来なかった）理由	地権者との合意に時間を要しているため、事業が完了していない。
計画終了後の状況（事業効果）	未実施のため事業効果なし
事業の今後について	未実施の状況ではあるが、現在は地元関係団体等と協議を進めながら、市街地再開発事業等による再生整備を、現在調整中である。

### 3.今後について

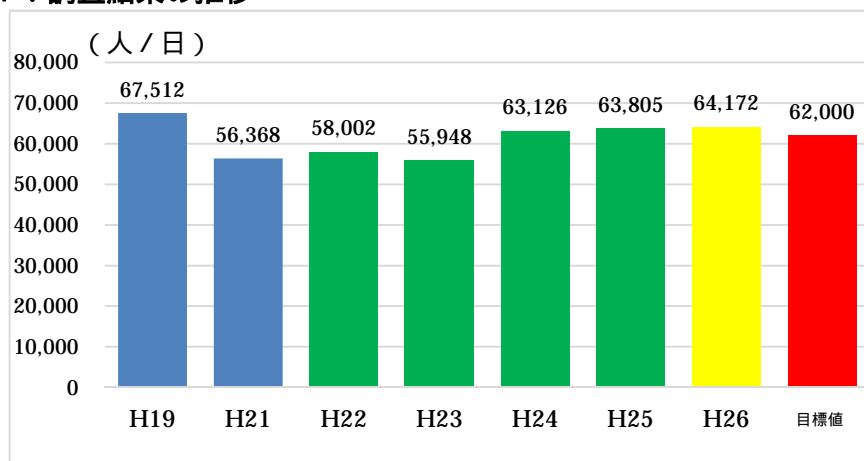
目標達成に向けた主要事業であるアステ川西大規模改修事業は、厳しい経済情勢を受けて計画期間内に実施できなかったため、計画当初に見込んでいた効果は得られなかった。一方で、アステ川西地下 1 階リニューアル事業では、見込んでいた事業効果までには至らなかったが、年間商品販売額の減少に歯止めをかける一定の効果をもたらし、川西能勢口駅周辺の魅力を高めた。

今後において、年々増加している歩行者通行量から、次期基本計画の活性化事業の実施を進めていく。また、区画整理を実施している中心市街地エリア北側のキセラ川西において新たに居住空間及び商業の複合施設や公園などを整備するとともに、段階的に実施してきたアステ川西の改修事業と合わせた商業活性化や、にぎわい創出事業で実施してきたソフト事業の継続的な実施などにより、2つの拠点の連携や回遊性を高めることで年間商品販売額の減少に歯止めをかけ、増加に転じるよう、最大限の取り組みを図っていく。

目標 「楽しみながら回遊したくなる『かわにしのせぐち』の創造」

「歩行者通行量」 目標設定の考え方基本計画 P69～P74 参照

1. 調査結果の推移



年	歩行者通行量 (単位：人/日)
H21	56,368 (基準年値)
H22	58,002
H23	55,948
H24	63,126
H25	63,850
H26	64,172 (目標値 62,000 人)

調査方法；歩行者通行量調査(毎年 11 月実施)  
 調査月；毎年 11 月実施、12 月取りまとめ  
 調査主体；川西市中心市街地活性化協議会  
 調査対象；中心市街地における休日 8 地点の歩行者数

2. 目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（事業効果）

・川西能勢口駅東地区第 2 工区優良建築物等整備事業（川西能勢口駅東地区第 2 工区権利者）

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(優良建築物等整備事業) 平成 24 年度～
事業開始・完了時期	平成 24 年度～【未】
事業概要	都市機能の更新と生活環境の改善のための商業施設と住宅施設などの建設を実施し、駅前への賑わいを創出する。
目標値・最新値	(目標値) 3,566 人 (最新値) -
達成状況	目標未達成
達成した（出来なかった）理由	地権者との合意に時間を要しているため、事業が完了していない。
計画終了後の状況（事業効果）	未実施のため事業効果なし
事業の今後について	未実施の状況ではあるが、現在は地元関係団体等と協議を進めながら、市街地再開発事業等による再生整備を、現在調整中である。



・かわにしにぎわい創出イベント事業（かわにし能勢口にぎわいプロジェクト）

支援措置名及び支援期間	なし
事業開始・完了時期	平成 22 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地における商業施設や滞留空間、街角広場などで、商業振興を目的とした様々なイベントの実施。
目標値・最新値	(目標値) 554 人 (最新値) 約 1,000 人
達成状況	目標達成
達成した（出来なかった）理由	商業振興を目的としたイベントとして、活性化策である「バル」や「まちゼミ」のほか、商業施設の空間を活用して実施した「まちなか美術館」などを中心市街地で展開することで、にぎわいを創出し、まちなかを来街者に知ってもらうことでリピーターを増やし、歩行者通行量の増加に貢献した。
計画終了後の状況（事業効果）	川西能勢口駅周辺を中心として、各イベントを実施しており、今後も継続して実施していく。
事業の今後について	今後も継続して実施

・回遊動線形成促進事業（川西能勢口振興開発株式会社）

支援措置名及び支援期間	なし
事業開始・完了時期	平成 23 年度～【未】
事業概要	中心市街地の歩行者動線の形成による沿道でのにぎわい空間の創出について検討することで、中心市街地における歩行者回遊動線の強化を図る。
目標値・最新値	(目標値) 564 人 (最新値) -
達成状況	目標未達成
達成した（出来なかった）理由	キセラ川西での区画整理の進捗状況を見据えたうえで、中心市街地全体の回遊動線を検討する必要があるため、時期的に実施にまでは至ることができなかった。
計画終了後の状況（事業効果）	未実施のため事業効果なし
事業の今後について	今後整備されていくキセラ川西を見据えたうえで、総合的に判断していく必要があるため、関係部署との連携を強化していくとともに、新基本計画において、市民ニーズを取り入れながら実施していく。

### 3. 今後について

歩行者通行量の目標に関する事業については、一部遅延が生じているが、目標は達成することができた。目標達成の要因としては、「かわにしにぎわい創出イベント」において実施した、川西能勢口駅周辺での商業振興を目的としたイベント事業の効果に加えて、川西能勢口駅周辺での民間業者の取り組みやマンション開発による居住人口の増加による相乗効果も加わり、川西能勢口駅からアステ川西へ通じる歩行者ポイントと旧ジャスコ北東側の歩行者ポイントが増加し、目標達成への効果的な要因となった。

今後は、未実施である事業に着手しつつ、更なる賑わいの創出を図るために、アステ川西を中心とした川西能勢口駅周辺の回遊性のさらなる促進に継続的に取り組むとともに、今後整備されていくキセラ川西を見据えたうえで、川西能勢口駅周辺とキセラ川西の2つの拠点の回遊性を更に高めるため、「バル」や「まちなか美術館」といった、まちなかを歩くイベントの開催を継続的に実施するとともに、各種イベントなどの企画・実施をレベルアップすることで、更なるにぎわいの創出を図り、歩行者通行量の増加を目指していく。